

(3) 2013年(平成25年)8月5日(月曜日)

日本中古トラ
ック査定協会

資産価値を正当に

今年2月に発足した書の内容が良くないことに反する」と分析す
日本中古トラック査定と日本中古トラック査定協会(JAVAL、神奈
川県川崎市麻生区)。

初代の代表理事に就いた濱崎秀基氏は、「中低く評価されるのは、古トランクの査定制度を確立させることで、資金調達など運送事業者の経営を全力でサポートする」とし、「ベースにあるのは、苦境にある運送事業者を元気にしたい」と語る。

濱崎氏は運送事業者の経営状況について、「リース会社や金融機関との交渉が円滑に進んでおらず、資金調達がうまく行っていないケースが多い」と指摘

整備事業者など同協会の会員企業が規定に沿って車両をチェックし、協会に報告。協会側では報告に基づいて査定証額を記載している。

しかし、「実際の中古市場での流通価格は、自分が実際に車両を10台保有していれば3000万円で貰うことができる。300万円で貰い取られる車両を1台保有して車両を貰い取ることで、これが金融

明。「日本のトランクは性能が良く、新車で買えば10~15年は使える。有車両を査定し、本来は別途費用がかかる。査定費用は、1台1万円の資産になる」。機関への信用となる。

そこで同協会が目指す査定費用は、1台1万円の資産価値と決算書上において、査定証の有効期間は30日間。

濱崎氏は、「金融機関に活用を促すため、車両を査定してその評価を元にして融資を受ける。にもかかわらず、の評価の乖離をなくす」と同氏は表



濱崎氏

濱崎秀基氏(日本中古トラック査定協会 初代代表理事)。運送会社の財務内容が実際よりはあるかないかに古市場での流通価格は、自分が実際に車両を10台保有して車両を貰い取ることで、これが金融

容が実際に車両を10台保有して車両を貰い取ることで、これが金融

うことで、これが金融

これは、同協会に加盟する会社であれば、査定証に記載された価格

株式会社 物流産業新聞社

「物流ウイークリー」

2013年8月5日(月)付